



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 成学社  
 コード番号 2179 URL <https://www.kaisei-group.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 藤田 正人

TEL 06-6373-1595

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,216	5.4	608		615		453	
2019年3月期第1四半期	2,102	8.2	531		506		357	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 454百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 358百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	81.99	
2019年3月期第1四半期	64.73	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,043	2,185	27.2
2019年3月期	8,858	2,669	30.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,185百万円 2019年3月期 2,669百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.35		5.35	10.70
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		5.50		5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,672	4.9	266		279		294		53.29
通期	12,641	6.3	223	41.9	189	72.2	13	96.5	2.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	5,876,000 株	2019年3月期	5,876,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	350,260 株	2019年3月期	350,260 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	5,525,740 株	2019年3月期1Q	5,525,740 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、事業ドメイン「乳幼児から社会人までの教育および保育を基本とする教育企業」の下、主力の学習塾ブランドである「個別指導学院フリーステップ」に加え、クラス指導の学習塾「開成教育セミナー」、認可保育所「かいせい保育園」、外国人留学生を対象とした「開成アカデミー日本語学校」等を運営し、幅広い教育および保育ニーズに応え、事業展開を行っております。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,216,662千円（前年同期比5.4%増）、営業損失は608,200千円（前年同期は営業損失531,020千円）、経常損失は615,911千円（前年同期は経常損失506,897千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は453,034千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失357,689千円）となりました。

なお、当社グループの第1四半期の業績は、収益の基盤となる塾生数が少ない期間であること、収益性の高い講習会・特別授業を実施しない期間であること等により、例年、営業損失を計上する傾向にあります。当第1四半期連結累計期間におきましても営業損失を計上しておりますが、概ね当初の計画通りに推移しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①教育関連事業

個別指導部門は、主力ブランド「個別指導学院フリーステップ」の特長である「点数アップと大学受験に強いフリーステップ」を活かした集客力の強化により塾生数が増加したことに加え、塾生1人当たりの受講講座数が増加したことで単価が上昇し、売上高は前年同期から増加しております。

クラス指導部門は、市場規模が縮小している影響もあり、塾生数および売上高の減少が続いております。なお、授業フレームの変更、合宿の開催等の施策により塾生1人当たりの単価が上昇したことで、売上高の減少を抑制しております。

保育部門は、4月に認可保育所「かいせい保育園」、「アイテラス保育園」を各1園新たに開園したことにより園児数が増加し、売上高も前年同期から増加しております。

その他の指導部門は、「開成アカデミー日本語学校」の学生数の増加、学校法人等への広告販売が堅調に推移し、売上高は前年同期から増加しております。

この結果、売上高は2,181,582千円（前年同期比5.5%増）となったものの、保育士等の人件費の増加、保育士確保のための人材募集費の増加、教室電気料金低減のための一過性費用の発生等により、セグメント損失（営業損失）は592,547千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）519,926千円）となりました。

#### ②不動産賃貸事業

所有不動産の余剰スペース（賃貸スペース）およびテナントの入居状況に大きな変動はなく、売上高は9,375千円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益（営業利益）は8,346千円（前年同期比5.8%増）となりました。

#### ③飲食事業

メニューの入替等により集客力の強化を図ったものの、売上高は25,704千円（前年同期比0.3%増）、セグメント損失（営業損失）は5,669千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）5,442千円）と前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から814,833千円(9.2%)減少し、8,043,389千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から988,837千円(30.4%)減少し、2,259,114千円となりました。これは主として営業未収入金が前連結会計年度に比べ353,172千円、現金及び預金が同325,682千円、その他に含まれる未収入金が同285,758千円減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末から174,004千円(3.1%)増加し、5,784,275千円となりました。これは主として投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が前連結会計年度に比べ170,420千円増加したことによります。

負債は前連結会計年度末から330,599千円(5.3%)減少し、5,858,144千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から298,155千円(8.3%)減少し、3,307,957千円となりました。これは主として短期借入金の前連結会計年度に比べ261,666千円増加したものの、その他に含まれる未払金が前連結会計年度に比べ316,399千円、未払法人税等が同190,881千円、買掛金が同145,355千円減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度末から32,443千円(1.3%)減少し、2,550,187千円となりました。これは主として長期借入金の前連結会計年度に比べ35,567千円減少したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末から484,233千円(18.1%)減少し、2,185,245千円となりました。これは主として利益剰余金が前連結会計年度に比べ482,597千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、前回公表(2019年5月15日)の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,514,622	1,188,940
営業未収入金	1,040,131	686,958
商品	80,879	55,566
仕掛品	-	2,396
貯蔵品	17,042	19,865
その他	613,532	323,582
貸倒引当金	△18,257	△18,195
流動資産合計	3,247,951	2,259,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,220,747	4,229,219
減価償却累計額	△1,379,458	△1,429,077
建物及び構築物(純額)	2,841,288	2,800,142
土地	1,107,772	1,107,772
その他	1,017,499	1,065,942
減価償却累計額	△706,589	△733,349
その他(純額)	310,910	332,592
有形固定資産合計	4,259,971	4,240,507
無形固定資産		
のれん	1,353	21,149
その他	118,709	121,177
無形固定資産合計	120,062	142,327
投資その他の資産		
差入保証金	917,948	930,923
その他	312,288	470,517
投資その他の資産合計	1,230,236	1,401,441
固定資産合計	5,610,271	5,784,275
資産合計	8,858,222	8,043,389

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	198,664	53,308
短期借入金	596,668	858,334
1年内返済予定の長期借入金	582,079	566,426
未払法人税等	206,900	16,019
前受金	733,509	783,183
賞与引当金	129,037	42,522
その他	1,159,252	988,163
流動負債合計	3,606,113	3,307,957
固定負債		
長期借入金	1,996,678	1,961,111
退職給付に係る負債	5,890	5,872
資産除去債務	465,729	467,768
その他	114,331	115,434
固定負債合計	2,582,631	2,550,187
負債合計	6,188,744	5,858,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,108	235,108
資本剰余金	175,108	175,108
利益剰余金	2,543,961	2,061,363
自己株式	△288,452	△288,452
株主資本合計	2,665,725	2,183,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,026	2,589
為替換算調整勘定	△273	△471
その他の包括利益累計額合計	3,753	2,117
純資産合計	2,669,478	2,185,245
負債純資産合計	8,858,222	8,043,389

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,102,544	2,216,662
売上原価	2,186,077	2,300,824
売上総損失(△)	△83,532	△84,161
販売費及び一般管理費	447,487	524,038
営業損失(△)	△531,020	△608,200
営業外収益		
受取利息	371	371
受取配当金	381	369
保険解約返戻金	25,226	-
その他	5,087	1,984
営業外収益合計	31,067	2,725
営業外費用		
支払利息	6,438	7,048
固定資産除却損	-	1,925
その他	505	1,462
営業外費用合計	6,944	10,436
経常損失(△)	△506,897	△615,911
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	1,378	-
事業譲渡益	5,500	-
特別利益合計	6,878	-
特別損失		
減損損失	-	3,045
特別損失合計	-	3,045
税金等調整前四半期純損失(△)	△500,018	△618,957
法人税、住民税及び事業税	6,183	5,973
法人税等調整額	△148,512	△171,896
法人税等合計	△142,329	△165,923
四半期純損失(△)	△357,689	△453,034
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△357,689	△453,034



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△357,689	△453,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	317	△1,437
為替換算調整勘定	△982	△198
その他の包括利益合計	△664	△1,636
四半期包括利益	△358,354	△454,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△358,354	△454,670
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	2,067,837	9,068	25,638	2,102,544	—	2,102,544
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,580	—	6,580	△6,580	—
計	2,067,837	15,648	25,638	2,109,124	△6,580	2,102,544
セグメント利益又は 損失(△)	△519,926	7,892	△5,442	△517,477	△13,543	△531,020

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△13,543千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用13,543千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	2,181,582	9,375	25,704	2,216,662	—	2,216,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,633	—	6,633	△6,633	—
計	2,181,582	16,008	25,704	2,223,296	△6,633	2,216,662
セグメント利益又は 損失(△)	△592,547	8,346	△5,669	△589,870	△18,330	△608,200

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△18,330千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用18,330千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において3,045千円であります。